

研修名	ひきこもり支援実務者連絡会
話題提供者	<p>【第1部】『ひきこもりの社会資源』 家族会やフリースペースの運営等を行っている方や、ひきこもり等支援機関の方 竹の親の会（家族会） Café Tera（フリースペース） 北九州若者サポートステーション</p> <p>【第2部】『ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」における支援を通して』 北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」 ひきこもり支援コーディネーター</p>
助言者	小倉記念病院 緩和ケア・精神科部長 精神科医 三木 浩司 氏
開催日時	令和5年1月13日（金）14：00～17：00
開催場所	ウェルとばた2階 多目的ホール
参加者数	33名（内訳：行政機関、教育関係機関、相談支援機関、医療機関など）
研修の内容等	<p>ひきこもりの問題に関わる支援者が一同に会し、情報交換を行うことで、連携のためのネットワークの構築や互いのスキルアップを目指すことを目的として、連絡会を開催するもの。</p> <p>第1部は、家族会やフリースペースの運営を行っている方や、ひきこもり等支援機関の方から、活動や機関についてご紹介いただいた。</p> <p>第2部は、ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」の支援事例をご紹介いただき、見立てや支援方法についてグループ討議を行った。また、参加者のうち希望された方から、所属機関に係るチラシ配布や紹介など、情報提供をしていただいた。</p> <p>参加者のうち希望者については、連絡会前後に北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」の見学をしていただく機会を設けた。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった社会資源を知ることができた。 ・多職種・機関の方の意見が聞けたこと、交流できたことについて：勉強になった、参考になった、自分にない考えを知ることができた、など。 ・自分の目線ではなく、相手の目線で話を聞くことの大切さを学んだ。 ・信頼関係の構築の重要性を再認識した。 ・参加者の方々が頑張っている姿にエネルギーをもらえた。 <p style="text-align: right;">など</p>